

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況などを短くまとめて紹介します



北京事務所

遼寧省における冰雪経済を活用した観光客誘致

2024年12月12日から13日にかけて、遼寧省瀋陽市において「2024 遼寧国際冰雪経済協力活動」（冰雪経済に関する国際会議）が開催され、クリア北京事務所職員が参加しました。

中国では現在、冰雪経済の取り組みが進んでおり、当事務所はこれまでも、中国東北地方を中心に各地の会議に参加しています（中国における取り組みの全体像については、本誌2024年7月「中国で熱く盛り上がる“冰雪経済”」を参照ください）。

冰雪経済は、当初ウィンタースポーツが主でしたが、近年では、雪まつりなどの冬季イベント・温泉・グルメなども含めた、冰雪を観光資源とする幅広い経済活動のことを指します。

今回の会議には、20カ国・地域から約150人が参加し、冰雪旅行、冰雪スポーツ、冰雪設備などに関するテーマで交流が行われたほか、国内外の関連企業60社以上が出席していました。

会議では、遼寧省がスキー設備産業では製品を海外にも輸出し、2023年から2024年にかけて、冰雪産業の利益は前年に比べて大きく増加したこと、温泉の数が中国全土でトップであり、温泉資源も冰雪産業で活用していくことなどが紹介されました。スポーツ分野では、ウィンタースポーツ人材の交流に力を入れていることなどが紹介されました。文化・スポーツの融合発展に焦点を当て、ブランド力を向上させ、消費を拡大させるとの意気込みが示されました。

今回、フランスやイタリア、ドイツの冰雪関係企業などからの参加者もあり、中国東北部が、ウィンタースポーツの本場からも注目を浴びていると感じました。



遼寧省の本溪雲山スキーリゾート



「2024 遼寧国際冰雪经济協力活動」の様子



シドニー事務所

豪州多文化主義政策交流プログラム開催ービクトリア州メルボルン都市圏ー

クリアシドニー事務所は2024年11月25日から30日にかけて、日本の自治体職員や地域国際化協会職員などを対象に、「豪州多文化主義政策交流プログラム」を開催しました。オーストラリアにおける多文化主義政策に基づく先進的な取り組みを実地で学び、日本の自治体などでの多文化共生施策の企画立案などに役立ててもらうことを目的としています。メルボルン都市圏での開催は今回で4回目を迎え、過去最多となる17人が参加しました。

今回のプログラムでは、ビクトリア州多文化省やモナシュ市などの行政機関をはじめ、NPOなど合計9つの機関を訪問し、教育、コミュニティー支援、福祉・医療、雇用・就労支援、防災といった多岐にわたる分野の取り組みについて学びました。参加者の多くが、多文化共生や外国人住民支援に関する業務に携わっていることから、講義後の質疑応答の際には、具体的なサービス内容や他機関との連携、コミュニティーとの関わり方などについて、活発な意見交換が行われました。

参加者の多くは、多様な文化的・言語的背景のあるコミュニティーに対し、積極的に交流や対話の機会を設けることでニーズの把握に努め、個々の状況に応じた支援策を模索するアプローチに強い関心を示していました。また、オーストラリアでは、子どもから大人まで、さまざまな段階で支援する制度やプログラムが充実しているだけでなく、社会全体で多様性を認め合い、尊重する意識や姿勢が根付いている点に、感銘を受ける様子も見られました。



訪問先で質問する参加者



最終日にプログラムで学んだことを参加者同士で振り返る様子



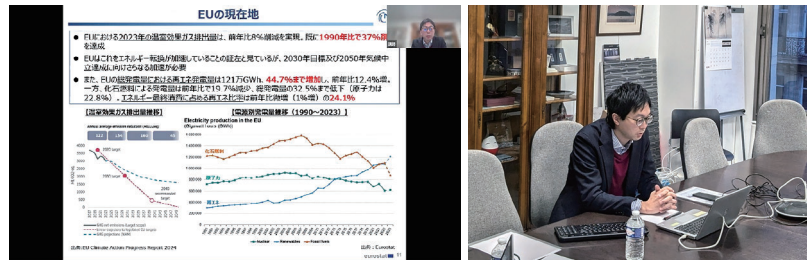
パリ事務所

「フランスを中心とした欧州全体の脱炭素化に向けた取り組み」についてウェビナーを開催しました

クレアパリ事務所は、2024年12月18日に、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）海老原史明欧州事務所長をお迎えし、「フランスを中心とした欧州全体の脱炭素化に向けた取り組み」をテーマにウェビナーを開催しました。欧州連合（EU）では、2030年までに温室効果ガス排出量を1990年比で少なくとも55%削減するという目標を掲げ、全体でさまざまな政策を実施しています。今回は、海老原所長から、フランスを中心とした欧州全体の脱炭素化に向けた取り組み、水素活用に向けた欧州各国の取り組みについてお話しいただきました。

ウェビナーの参加者からは「欧州のエネルギー事情について、昨今の政治情勢などと絡めてご説明いただいたことで、理解が進んだ」「欧州の環境変化に対するスピーディーな施策対応能力の高さが印象に残った」といったコメントがありました。

クレアパリ事務所では、今後も日本の自治体に役立つ情報をウェビナー形式で発信してまいります。



ウェビナーの様子



ソウル事務所

フィルム越しの日韓交流

～公報文化院で開催された日韓フォトコンテストの授賞式に出席～

2024年12月7日、在大韓民国日本国大使館公報文化院で日韓フォトコンテストの授賞式が開催されました。

日韓フォトコンテストは、日韓の文化交流促進と観光振興などを目的に、在韩国日本大使館公報文化院をはじめとする日韓両国の行政機関、地方自治体、企業などが協力して2014年から実施されているイベントで、今回第11回目の開催を迎えました。

応募総数約3,800点の写真の中から22点が受賞作品として選定されました。クレアソウル事務所も後援を行い、作品の審査に参加し、「CLAIR賞」を提供しました。

応募作品の中には、韓国人の方が撮影した日本の地方の新しい魅力を発見できるような美しい風景や建物、若い韓国人女性が年配の日本人女性に浴衣を着せてもらっている様子など、写真越しにお互いの国に対する愛着を感じることができるものも多く、日韓の友好を改めて感じられたイベントとなりました。

韓国の方だけでなく日本の皆様も応募可能ですので、次回開催の際には、是非皆様も応募してみてください。

URL : <https://jkphotocon.org/>



「第11回日韓フォトコンテスト」の「CLAIR賞」受賞者「OH KWANG HOON」氏の作品



ニューヨーク事務所

Travel & Adventure Show in NY に出展しました

2025年1月25日から26日にかけて、ニューヨーク市のジャビッツ・コンベンションセンターで、米国最大級の旅行博であるTravel & Adventure Show（トラベルショー）が開催されました。トラベルショーは、米国最大級の旅行博企画会社であるUNICOMM, LLCが主催するイベントで、旅行業関係者、メディア関係者、一般消費者を対象としており、会場では米国各州をはじめ、欧州、アフリカ、中東、アジアなどへの誘客を目指し、多くの団体が出展しました。

クレアニューヨーク事務所は、日本政府観光局（JNTO）が主催するジャパンプース内にブース出展し、日本の各地方の観光情報を提供するとともに、開催が迫る2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のPRも実施しました。日本への旅行をすでに決定している来場者も多く、訪問予定の自治体のパンフレットを喜んでお持ち帰りいただきました。

また、来場者を対象として開催された各種セミナーでは、より安く航空券を購入する予約方法といった賢く旅行をするコツなどが発信されました。各回で立ち見が出る程の人気で、消費者の旅行への強い熱意を感じる機会となりました。



日本各地のPRをするニューヨーク事務所職員 会場で開催されたセミナーに聴き入る来場者



シンガポール事務所

タイの FIT (海外個人旅行) フェアに出展する富山県のブース支援を行いました！

2024年11月8日から10日にかけてタイ・バンコクで開催された、JNTOが主催する旅行博「第16回FITフェア」にて、富山県ブースを支援しPR活動を行いました。

今回、富山県は中部エリアの広域連携DMO(地域づくり法人)である(一社)中央日本総合観光機構のブース内に共同出展し、中央日本エリアの他の自治体や鉄道会社と連携を図りながら富山県をPRしました。特に広域周遊を計画する来場者には、移動ルートにあわせて他の自治体を案内したり鉄道会社の周遊パスも一緒に紹介したりと、効率よく情報提供ができました。

来場者からは、県内の人気観光スポットである「雪の大谷」へのアクセス方法や、県内の紅葉やお花見の人気エリア、おすすめのサイクリングコースなどに関する質問があり、タイでの訪日観光の人気の高さがうかがい知れました。

また、会場のメインステージでは富山県に関するクイズ大会を開催し、正解者には富山県産の伝統工芸品などが贈呈され、場内はとても盛り上がりました。



ブースの様子



ステージの様子



ロンドン事務所

商店街などの中心市街地の活性化をテーマに「JLGCセミナー(日英交流セミナー)」を開催しました！

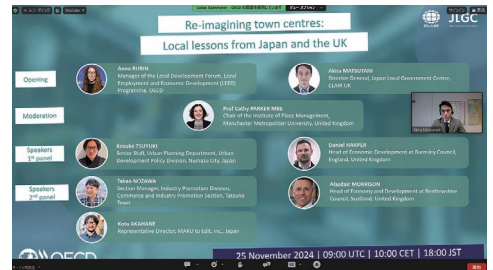
クリアロンドン事務所では、英国などの地方自治体関係者および日系機関関係者を対象に、日本に関する理解を深めていただき、交流・協力関係の促進に資することを目的に、毎年「JLGCセミナー(日英交流セミナー)」を開催しています。

今年度は、2024年11月25日に、国際機関である経済協力開発機構(OECD)との共催により、「商店街をもっと元気に：日本と英国から学ぶ地域の取り組み(Re-imagining town centres: Local lessons from Japan and the UK)」をテーマに開催しました。

冒頭、英国の専門家から中心市街地変革に係るフレームワークなどについて概要説明いただいた後、日本と英国の先進事例を自治体関係者などから2事例ずつ発表していただきました。

視聴者からは、特に先進的だと考えている取り組み例、環境などに配慮した持続可能な開発、スモールビジネスの状況などに関する質問をはじめとして、セミナーを通して多数の質問が寄せられ、日英両国の知見を共有する有意義な機会となりました。

当日の様子は右の二次元コードから視聴できますので、ぜひご覧ください。



当日のセミナーの様子



JETプログラム事業部

第9回JET地域国際化塾に参加しました！

2024年12月4日から6日まで、総務省と福島県の共催により、JET地域国際化塾が福島県内で開催されました。東北地方に赴任している現役JET参加者68人が参加した本事業は、視察や体験を通じて地域おこし協力隊や地域づくり関係者と交流することにより、地域活動への理解を深める機会となりました。1日目は、実際に活動されている方の講演を聞いた後、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れ、震災の被災状況や復興への取り組みを学びました。2日目は、宿泊先のナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」を見学後、2グループに分かれて福島県内のさまざまな地域づくりの現場を巡り、地元の伝統産業を体験しました。最終日には、「自分が住んでいる地域を活性化させるために自分には何ができるか」をテーマに、参加者同士グループワークで積極的に意見を出し合い、発表を行いました。今回の国際化塾で得られた経験を、各参加者が任用先での職務に生かし、ますます活躍されることを期待しています。



Jヴィレッジでの集合写真



3日目のグループワークの様子

経済交流課

2024年度第3回食を通じた地域のプロモーション・交流事業 (FAM ツアー事業) 宮崎県延岡市・高千穂町の魅力を世界へ発信!

クリアでは、日本の食文化などに関心を寄せる海外の消費者などを招聘し、日本各地でFAM ツアーを実施しています。本事業は地域の魅力を国内外に発信するとともに、自治体の海外販路開拓やインバウンド（訪日客）誘致につなげることを目的としております。

今回は、第3回目として宮崎県延岡市と高千穂町で実施した事例をご紹介します。このツアーでは、タイでのプロモーションを目的に、インフルエンサーやウェブメディア、旅行会社の方を3人招聘しました。延岡市および高千穂町を3泊4日で訪れ、地域ならではの食文化や神話スポット巡り、アクティビティを体験していただきました。参加者は、初めて目にする美しい景色や新しい体験に感動され、地域の方との交流の中で、各体験の背景について多くの質問をされていました。その後、各体験先で得たストーリーを、海外向けに発信を進めていただいています。クリアは今後も、地域の食文化や観光資源の魅力を多様な方法で海外に発信することにより、自治体の海外販路開拓やインバウンド促進を後押ししていきます。

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



グランドスーパーカート乗車体験 @高千穂あまてらす鉄道



タイの人々に向けて地域の魅力を発信しました @延岡市ピクニックガーデンエンチャード

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（シドニー事務所管内）を開催しました!

2024年12月1日から7日までの7日間、東京都と山口県宇部市においてオーストラリアおよびニュージーランドの自治体幹部4人を迎え、セミナーを開催しました。

東京都では、明治大学の木村俊介教授による日本の地方自治制度について講義を受けました。

宇部市では、「UBE ビエンナーレを活用した観光と地域活性化の取組」というテーマのもと、多様な視察と交流を実施しました。参加者はまず、広大な緑地に多彩な彫刻が点在するときわ公園 UBE ビエンナーレ彫刻の丘を訪れ、印象的な作品群を鑑賞しました。その後、ときわ湖水ホールも見学し、地域文化とアートが融合する空間を体感しました。

視察はさらに、宇部市の魅力を発信するイベント「まちじゅうエヴァンゲリオン」、地域住民に親しまれている歴史ある琴崎八幡宮、西日本最大級の規模を誇る藤河内茶園へと続きました。また、永山本家酒造場では、伝統的な酒造りと現代技術の調和を目指した取り組みを学び、地域資源を活用したブランド発信の可能性を実感しました。

視察後の意見交換会では、参加者からこれまでの訪問内容や視察を踏まえた具体的な質問や意見が挙げられ、活発な議論が交わされました。この交流は、セミナー参加者および受け入れ自治体の双方にとって、多くの気づきと学びをもたらす貴重な機会となりました。



篠崎圭二宇部市長（前列の左から3番目）との記念撮影（宇部市役所）



視察の様子

多文化共生課

多文化共生推進研修会を開催しました

多文化共生部では、地域国際化協会や自治体などのスキル向上を目的に、日本青年国際交流協会（IYEO）の有江幸司氏、横倉萌子氏を講師に「戦略的広報研修」をオンラインで実施し、全国から300人以上にご参加いただきました。

講義では、マーケティングの基礎から効果的な広報戦略や理論までを、広報初心者にも分かりやすくご説明いただきました。また、講師が実際の広報活動で活用している無料ツールもご紹介いただき、明日からすぐに実践できる情報も共有されました。

事後アンケートでは、受講者の9割以上から「役に立つ内容だった」との回答をいただきました。さらに、「何も知らない自分でも、置くことなく学ぶことができた」といった好評の声も多数寄せられました。

今後も、アンケートでいただいたご意見を参考に、ニーズに沿った研修を企画してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

本研修のチラシ